

令和7年度 大隅森林管理署 公共工事契約状況

令和8年3月13日

分任支出負担行為担当官
大隅森林管理署長 佐竹 敏郎

工 事 名		施 工 場 所		工事種別	工事概要	入札方式
中間治山工事（2129）		鹿児島県志布志市志布志町内之倉地内		治山工事	コンクリート谷止工 個数 1.0個 数量 156.2m3	一般競争入札 （総合評価落札方式）
予定価格（税抜き）	調査基準価格（税抜き）	契約年月日		契約相手方の商号又は名称及び住所		
22,141,000円	19,880,850円	令和8年3月6日		鹿児島県志布志市志布志町志布志3-16-10 松清産業株式会社		
契約金額（税抜き）	工事着手の時期	工事完成の時期				
21,300,000円	令和8年3月	令和8年10月				

○予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第73条の規定に基づく競争参加資格

別添「入札公告」のとおり

○競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称及びその者を参加させなかった理由

別紙「競争参加資格確認結果書」（別添1）のとおり

○入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額

別紙「入札執行調書」（別添2）のとおり

○予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳

別紙「工事積算内訳書」（別添3）のとおり

入札公告（森林土木工事）（総合評価落札方式）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和8年1月29日

分任支出負担行為担当官
大隅森林管理署長 佐竹 敏郎

1 工事概要

(1) 工事名 中間治山工事（2129）

(2) 工事場所 鹿児島県志布志市志布志町内之倉地内（水源かん養保安林）

(3) 工事内容 溪間工 1基 156.20 m³

(4) 工期 契約締結日の翌日から令和8年10月7日まで

（工期は、「4週8休」を標準として設定）

令和8年4月3日（工事着手期限）までに工事を開始すること。

本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事であり、工事着手期限までの間で、受注者は工事の着手日を任意に設定することができる。

契約締結の日から工事着手日の前日までの間は余裕期間となり、余裕期間内は技術者を配置することを要しない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。なお、余裕期間内に工事着手した場合においても、工期の終期の変更は行わない。

(5) 本工事は、総合評価落札方式（簡易型）における提出資料の簡素化（技術提案の施工計画の省略）や技術審査・評価の効率化を図り、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する工事である。

(6) 本工事は、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の工事である。

(7) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

- (8) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
- (9) 本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
- (10) 本工事は、週休2日を促進するため、現場閉所による通期の週休2日は必須とし、さらに月単位の週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事(発注者指定方式)である。
契約締結後、週休2日を確保して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領(平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知)に基づく工事成績評定において評価を行うとともに、週休2日の取組実績証明書を発行する。
- (11) 本工事は、令和7年3月1日以降の労務単価を適用して予定価格を積算していることから、令和8年3月から適用する公共工事設計労務単価が決定された場合、特例措置に基づく請負代金の変更が可能となる場合がある。
決定された場合は九州森林管理局ホームページ
https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327
でお知らせするので確認すること。
- (12) 本工事は、ICT技術の活用を図るため、受注者の希望により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用するICT活用工事の対象工事(受注者希望型)である。

2 競争参加資格

- (1) 「予算決算及び会計令」(昭和22年勅令第165号)第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第70条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 九州森林管理局における土木一式工事に係るB、C又はD等級の一般競争参加資格の認定を受けていること。ただし、D等級においては資格点数が1,000点以上の格付者であること(「会社更生法」(平成14年法律第154号)に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」(平成11年法律第225号)に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。)
- (3) 「会社更生法」に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者(上記(2)の再確認を受けた者を除く。)でないこと。

(4) 平成 22 年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が 20% 以上の場合のものに限る。）。

なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成 10 年 3 月 31 日付け 10 林野管第 31 号林野庁長官通知）第 4 の 3 に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が 65 点未満のものを除く。

経常建設共同企業体において、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- ・ 森林土木工事：① 治山関係事業における溪間工事若しくは山腹工事
② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③ 林道規定に定める自動車道 2 級以上に相当する作業道の新設工事
のうち①が該当する工事

(5) 「建設業法」（昭和 24 年法律第 100 号）に基づく「主任技術者又は監理技術者」（以下「主任（監理）技術者」という。）の配置については、次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を配置できること。

ただし、本工事において、現場施工に着手するまでの期間及び工事完成後、検査が終了し事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、必ずしも主任技術者又は監理技術者の専任の配置は要しない。

- ① 技術士（建設部門又は森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）、2 級土木施工管理技士、2 級建設機械施工技士又は林業技士（森林土木部門に限る。）以上の資格を有する者であること。
- ② 平成 22 年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期（余裕期間は除く）のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が 65 点未満のものを除く。

ア 主任（監理）技術者

イ 主任（監理）技術者の下で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか 2 以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

- ・森林土木工事：① 治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
② 林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③ 林道規程に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
のうち、いずれかの工事

- ③ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

ただし、監理技術者の行うべき職務を補佐する者として、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者等を除く基準をすべて満たす者を当該工事現場に専任で配置する場合は、2現場を限度として兼務できることとする。

なお、主任技術者の専任に係る取り扱いについては、工作物に一体性若しくは連続性のある工事又は施工にあたり相互に調整を必要とする工事で、かつ、工事の施工管理区域間隔が10km程度又は移動時間60分程度の接近した場所において、同一の建設業者が施工する場合には、建設業法施行令第27条第2項が適用できるものとする。

この場合において、主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事について、原則3件程度とする。（監理技術者には適用しない）

- (6) 競争参加資格確認申請書、競争参加資格確認資料及び総合評価資料（以下「申請書等」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知。以下「工事請負契約指名停止等措置要領」という。）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去3年間（令和4年4月1日から令和7年3月31日まで）に完成した工事で工事成績評定を受けた工事がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。
- (8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
- (9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。

(10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

(11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にすることはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記2に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書等を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書等の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和8年1月30日から令和8年2月13日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時までとする。
- ② 提出先：〒893-0047 鹿児島県鹿屋市下堀町2926-3
大隅森林管理署 総務グループ
電話 0994-42-5217
メールアドレス：E-mail：ky_oosumi@maff.go.jp
- ③ その他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又はFAXによるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書等は入札説明書により作成すること。

(4) 上記(2)に規定する期限までに申請書等を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去3年間(令和4年4月1日から令和7年3月31日まで)に完成した工事で森林管理局長等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書(写)の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の2回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点等を記載した上で「〇〇森林管理(局、(支)署)令和〇〇年〇〇月〇〇日入札の〇〇工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。(入札説明書を参照のこと)

4 施工体制確認型総合評価落札方式に関する事項

(1) 施工体制確認型総合評価落札方式の仕組み

本工事の施工体制確認型総合評価落札方式は次の方法により落札者を決定する方式とする。

- ① 入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に、標準点100点を付与する。
- ② 上記3(1)の総合評価資料により示された実績等により最大30点の加算点及び最大30点の施工体制評価点を付与する。
- ③ 付与された標準点、加算点及び施工体制評価点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値(以下「評価値」という。)を用いて落札者を決定する。
その評価項目等の概要は、次に示すとおりとするが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については、入札説明書において明記している。

(2) 評価項目

評価項目は、次に示すとおりである。

- ① 施工能力等に関する事項
- ② 信頼性・社会性に関する事項
- ③ 施工体制(品質確保の実効性、施工体制確保の確実性)に関する事項

なお、①及び②の項目で最大30点の加算点、③の項目で最大30点の施工体制評価点とする。

(3) 落札者の決定の方法

入札参加者は価格をもって入札する。標準点に加算点を加えた点数をその入札価格で除して得られる評価値(評価値 = { (標準点 + 加算点 + 施工体制評価点) / (入札価格) }) を算出し、次の条件を満たした者のうち、算出した評価値が最も高い者を落札者とする。ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩

序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、入札価格が予定価格の制限の範囲内で、発注者の求める最低限の要求要件をすべて満たして入札した他の者のうち、評価値が最も高い者を落札者とすることがある。

- ① 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。
- ② 評価値が標準点（100点）を予定価格で除した数値「基準評価値」を下回らないこと。

5 入札手続等

(1) 担当部局

〒893-0047 鹿児島県鹿屋市下堀町 2926-3
大隅森林管理署 総務グループ
電話 0994-42-5217
メールアドレス：E-mail：ky_oosumi@maff.go.jp

(2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間において電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和8年1月29日から令和8年3月4日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒893-0047 鹿児島県鹿屋市下堀町 2926-3
大隅森林管理署 総務グループ
電話 0994-42-5217
- ③ 図面類は閲覧によること。
- ④ 配布資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和8年3月5日15時00分。
- ② 紙入札方式により入札の締切りは、令和8年3月5日15時00分とし、大隅森林管理署 入札室において入札。
- ③ 開札は、令和8年3月5日15時05分に、大隅森林管理署入札室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、分任支出負担行為担当官により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

6 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

① 入札保証金 免除

② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行鹿児島支店）。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 大隅森林管理署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

この場合には、「工事請負契約指名停止等措置要領」第1第1項の規定に基づく指名停止又は第10の規定に基づく書面若しくは口頭での警告若しくは注意の喚起を行うことがある。

(5) 配置予定主任（監理）技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム（CORINS）」等により配置予定の主任（監理）技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任（監理）技術者の変更は認めない。

(6) 低入札価格調査を受けた者と契約する場合は、建設業法の定めにより配置する技術者とは別に2の(5)に定める要件と同一の要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置することとする。

(7) 契約書作成の要否

作成を要する。

- (8) 関連情報を入手するための照会窓口
上記5(1)に同じ。
- (9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加
上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により申請書等を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (10) 申請書等の内容のヒアリング
原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。
- (11) 施工体制確認のためのヒアリング
施工体制確認のためのヒアリングを実施するとともに、その際、追加資料の提出を求めることがある。
- (12) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準(平成16年7月 林野庁)による。
- (13) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードされたい。
詳しくは当森林管理局のホームページ
https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html
を確認すること。
なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とする。
- (14) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」(平成19年農林水産省訓令第22号)第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働き掛けを受けた場合は、これを拒否し、その内容(日時、相手方及び働き掛けの内容)を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会(以下、「委員会」という。)に報告し、委員会の調査分析において不当な働き掛けと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表する。
(不当な働き掛け)
① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取

- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>
を確認すること。

入札執行調書

調達案件番号(第003807016020250009号)			調達案件名称			中間治山工事(2129)					
業者名称	技術評価点							入札第1回			備考
	総計	標準点	技術提案加算点				施工 体制 評価 点	金額	評価値	順位	
			換算 加算 点 (小 計)	技 術 提 案	施 工 能 力 等	信 頼 性 ・ 社 会 性					
松清産業 (株)	150	100	20	0	12	8	30	21,300,000	70.422	1	落札

(注)上記金額は、入札者が見積もった金額の110分の100に相当する金額である。

入札執行月日	令和08年3月5日
開札結果は上記の金額の通り相違ありません。	
執行官	佐竹 敏郎
立会・確認職員	間宮学・小島洋一

本工事費内訳書

中間治山工事（2129）

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
No.1コンクリート谷止工	式	1		10,208,000	工種行
バックホウ床掘 礫質土	m3	200	1,362	272,400	1号代価表 5頁
軟岩(I)B床掘	m3	66	1,965	129,690	2号代価表 6頁
土砂掘削面整形 粘性、礫質土	m2	33	608	20,064	3号代価表 7頁
岩盤清掃（軟岩IB）	m2	23100	1,376	31,785	4号代価表 8頁
コンクリートポンプ車打設(コンクリートポンプ車圧送料金による場合) 30≦V<45m3/日 無筋構造物 20m 生コンクリート小型車割増無	m3	156200	37,874	5,915,918	5号代価表 9頁
治山ダム型枠 設置・撤去 ケーブルクレーンなし	m2	112800	11,870	1,338,936	6号代価表 11頁
丸太式残存型枠工(治山ダム用) L3.6~4末口10.5~13	m2	52100	19,627	1,022,566	7号代価表 12頁
型枠[水平打継目] 一般型枠 小型構造物	m2	19	8,617	163,723	8号代価表 13頁
水抜工 硬質塩ビ管(径0.4m)	m	2300	15,300	35,190	9号代価表 14頁
伸縮継目（型枠有）	m2	15400	14,907	229,567	10号代価表 15頁
止水板設置 塩ビ止水板CF W300*T7mm	m	5500	5,386	29,623	11号代価表 16頁
コンクリートポンプ車打設(コンクリートポンプ車圧送料金による場合)[間詰コンクリート] 30≦V<45m3/日 無筋構造物 20m 生コンクリート小型車割増無	m3	11100	37,874	420,401	12号代価表 17頁
治山ダム型枠 設置・撤去[間詰] ケーブルクレーンなし	m2	9400	11,870	111,578	13号代価表 19頁

本工事費内訳書

中間治山工事（2129）

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
クレーン車類投入打設(治山)[袖詰基礎] 無筋構造物 18-8-40 吊	m3	2,900	35,647	103,376	14号代価表 20頁
型枠[袖詰基礎] 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	3,100	9,588	29,722	15号代価表 22頁
クレーン車類投入打設(治山)[袖詰] 無筋構造物 18-8-40 吊	m3	3,200	35,647	114,070	16号代価表 23頁
型枠[袖詰] 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	16,600	9,588	159,160	17号代価表 25頁
緑化土のう積工 緑化土のう（袖詰・側面積）600*400高1.0m程度まで	m2	1,100	13,676	15,043	18号代価表 26頁
実播工[盛土部] 人力播種緑化 20kg（種子・肥料・土壌改良材入）	m2	18,800	151	2,838	19号代価表 27頁
堤名板 金属板B型（550mm*400mm*12mm）	個	1	63,180	63,180	20号代価表 28頁
仮設工	式	1		791,000	工種行
足場工(キャットウォーク)	m	70,500	2,749	193,804	21号代価表 29頁
土のう締切工 48*62cm	m2	2	12,769	25,538	22号代価表 30頁
ポンプ運転(作業時排水) 小口径 発動発電機 排水量7以上30m3/h未満(ポンプ径100mm*1台)	日	4,200	7,539	31,663	23号代価表 31頁
水替ポンプ据付・撤去(小口径) 揚程10m以下 排水7以上30m3/h未満 ポンプ口径100mm	箇所	1	46,540	46,540	24号代価表 32頁
水替工 塩ビ管設置撤去（径0.3m）<仮設期間3ヶ月未満>	m	32	7,736	247,552	25号代価表 33頁
立木処理工 広葉樹48本	m3	3,640	60,200	219,128	26号代価表 34頁

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設道L=20m	m	20	1,354	27,080	27号代価表 35頁
直接工事費	式	1		10,999,000	
共通仮設費計	式	1		63,000 + 2,016,000 2,079,000	
共通仮設費(積上げ分計)	式	1		63,072 63,000	
安全費	式	1		63,072	1号内訳書 4頁
共通仮設費(率計上)	式	1		10,341,010 * 19.5 / 100 2,016,000	
純工事費	式	1		10,999,000 + 2,079,000 13,078,000	
現場管理費	式	1		12,420,010 * 43.11 / 100 5,354,000	
工事原価	式	1		13,078,000 + 5,354,000 18,432,000	
一般管理費等	式	1		((17,774,010 * (20.83 + 0 + 0) / 100) + 7,109.604) - 0 3,709,435	
一般管理費等計	式	1		3,709,435 3,709,000	
工事価格	式	1		22,141,000 22,141,000	
消費税相当額	式	1		22,141,000 * 10 / 100 2,214,100	
請負金額	式	1		22,141,000 + 2,214,100 24,355,100	

岩盤清掃（軟岩 I B）

代価表

（ 4号代価表 ）

10 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.100	32,400	3,240		[R7.3]
普通作業員	人	0.400	20,800	8,320		[R7.3]
諸雑費	%	19		2,196	諸雑費	
計				13,756		
1 m2 当り				1,376		
労務費の適用：普通作業員を適用						

代価表

(5号代価表)

10 m3当り

コンクリートポンプ車打設(コンクリートポンプ車圧送料金による場合)
30≦V<45m3/日 無筋構造物 20m 生コンクリート小型車割増無

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	0.200	32,400	6,480		[R7.3]
特殊作業員	人	0.200	29,200	5,840		[R7.3]
普通作業員	人	0.800	20,800	16,640		[R7.3]
生コンクリート(普通) 18-8-40BB	m3	10.700	27,900	298,530		
コンクリートポンプ車圧送料金	回	0.286	137,500	39,325		[見積]日打設量35m3 10m3/35m3=0.286 ポンプ車圧送料金=セット料金+打設料×日打
諸雑費	%	1		290	諸雑費	
養生工(一般養生) 無筋構造物	m3	10	857	8,570	32号代価表 41頁	[R7治山林道必携・上巻P291]
打継面清掃工	m3	10	306	3,060	33号代価表 42頁	[R7治山林道必携・上巻P856]
計				378,735		
1 m3 当り				37,874		
設計日打設量：V=35m3						
構造物種別：無筋構造物						
圧送管総延長：L=20m						
資材計上区分：施工費+材料費						
生コンクリート：生コンクリート(普通)；18-8-40						
生コンクリート小型車割増額の計上：計上しない						

治山ダム型枠 設置・撤去
ケーブルクレーンなし

代価表

(6号代価表)

10 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.290	32,400	9,396		[R7.3]
型わく工	人	1.570	30,000	47,100		[R7.3]
普通作業員	人	1.360	20,800	28,288		[R7.3]
諸雑費	%	40		33,914	諸雑費	型枠材(鋼製又は合板)、電力等
計				118,698		
1 m2 当り				11,870		
施工歩掛 : 設置・撤去:ケーブルクレーンなし ; 土木一般世話役	人, 人, 人, 日, %					
労務費の適用 : 普通作業員を適用						
日当り施工量(m2/日) : $D = \text{if}(24=0, 10/0.29, 24) = 24$						

丸太式残存型枠工(治山ダム用)
L3.6⁴末口10.5¹³

代価表

(7号代価表)

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	4,600	32,400	149,040		[R7.3]
型わく工	人	6,300	30,000	189,000		[R7.3]
普通作業員	人	17,800	20,800	370,240		[R7.3]
残存型枠用丸太 2.0m 10~12cm 皮付き 0.0242	m3	11,800	60,300	711,540		[沖縄適用不可][R7.8]
内部支保用資材(内部支保材(鋼材)) 連結材、漏れ防止材(ターポリン紙)を含む	m2	100	3,800	380,000		[R7.8]
諸雑費	%	23		162,904	諸雑費	持上(下)げ機械、電気ドリル、丸太の切り揃え等
計				1,962,724		
1 m2 当り				19,627		
資材計上区分：施工費+材料費 丸太材(径8~14cm 長2~3m程度)：杉丸太；L3.6~4末口10.5~13						
丸太材の単位選択：「m3」単位の材料単価 100m2当りの丸太材の使用量(ロス率0.07含む)：数量=11.8m3						
1式当り内部支保用資材単価：Zr=10円/式 労務費の適用：普通作業員を適用						

型枠[水平打継目]
一般型枠 小型構造物

代価表

(8号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	型わく工	44.28	30,000	型枠工	30,000	[R7.3] R6.3
R2	普通作業員	30.82	20,800	普通作業員	25,400	[R7.3] R6.3
R3	土木一般世話役	11.86	32,400	土木一般世話役	31,000	[R7.3] R6.3
<p>■施工パッケージ 計算根拠式 P' 積算地区補正単価 = 9,147.6</p> $\times \left\{ \left(\frac{44.28}{100} \times \frac{30,000}{30,000} + \frac{30.82}{100} \times \frac{20,800}{25,400} + \frac{11.86}{100} \times \frac{32,400}{31,000} \right) \times \frac{100}{(44.28 + 30.82 + 11.86)} \right.$ $\left. + \frac{100 - 100}{100} \right\} = 8,616.79915966257 = 8,617 (\text{円/m}^2)$						
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 型枠の種類：一般型枠 構造物の種類：小型構造物 労務費の適用：普通作業員を適用					
日当り	施工量(m2/日) 採用値：QPD = if(2== 4, if(1== 1, 15, 38), 15) *1 = 15					

代価表

(11号代価表)

止水板設置
塩ビ止水板CF W300*T7mm

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
止水板(塩ビ) 塩ビ止水板 C C W 3 0 0 × T 7 m m	m	10 700	2, 570	27, 499		[530]
土木一般世話役	人	0 300	32, 400	9, 720		[R7. 3]
普通作業員	人	0 800	20, 800	16, 640		[R7. 3]
計				53, 859		
1 m 当り				5, 386		
資材計上区分：材料費+施工費						
止水板：塩ビ止水板 CF； W300*T7mm						
労務費の適用：普通作業員を適用						

代価表

コンクリートポンプ車打設(コンクリートポンプ車圧送料金による場合)[間詰コンクリート]
 30≦V<45m³/日 無筋構造物 20m 生コンクリート小型車割増無

(12号代価表)

10 m³当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	0 200	32,400	6,480		[R7.3]
特殊作業員	人	0 200	29,200	5,840		[R7.3]
普通作業員	人	0 800	20,800	16,640		[R7.3]
生コンクリート(普通) 18-8-40BB	m ³	10 700	27,900	298,530		
コンクリートポンプ車圧送料金	回	0 286	137,500	39,325		[見積]日打設量35m ³ 10m ³ /35m ³ =0.286 ポンプ車圧送料金=セット料金+打設料×日打
諸雑費	%	1		290	諸雑費	
養生工(一般養生) 無筋構造物	m ³	10	857	8,570	32号代価表 41頁	[R7治山林道必携・上巻P291]
打継面清掃工	m ³	10	306	3,060	33号代価表 42頁	[R7治山林道必携・上巻P856]
計				378,735		
1 m ³ 当り				37,874		
設計日打設量：V=35m ³						
構造物種別：無筋構造物						
圧送管総延長：L=20m						
資材計上区分：施工費+材料費						
生コンクリート：生コンクリート(普通)；18-8-40						
生コンクリート小型車割増額の計上：計上しない						

治山ダム型枠 設置・撤去[間詰]
ケーブルクレーンなし

代価表

(13号代価表)

10 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.290	32,400	9,396		[R7.3]
型わく工	人	1.570	30,000	47,100		[R7.3]
普通作業員	人	1.360	20,800	28,288		[R7.3]
諸雑費	%	40		33,914	諸雑費	型枠材(鋼製又は合板)、電力等
計				118,698		
1 m2 当り				11,870		
施工歩掛 : 設置・撤去:ケーブルクレーンなし ; 土木一般世話役	人, 人, 人, 日, %					
労務費の適用 : 普通作業員を適用						
日当り施工量(m2/日) : $D = \text{if}(24=0, 10/0.29, 24) = 24$						

代価表

(14号代価表)

10 m3当り

クレーン車類投入打設(治山)[袖詰基礎]
無筋構造物 18-8-40 吊

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	0 200	32,400	6,480		[R7.3]
特殊作業員	人	0 600	29,200	17,520		[R7.3]
普通作業員	人	0 700	20,800	14,560		[R7.3]
生コンクリート(普通) 18-8-40BB	m3	10 700	27,900	298,530		[見積]
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 16t吊 長期割引	日	0 200	49,200	9,840		[CK010350]
諸雑費	%	2		968	諸雑費	バイブレータ、コンクリートバケット損料等
養生工(一般養生) 無筋構造物	m3	10	857	8,570	32号代価表 41頁	[R7治山林道必携・上巻P291]
計				356,468		
1 m3 当り				35,647		
施工歩掛：無筋構造物；クレーン車打設(10m3当り)：一般世話役(人)、特殊作業員(人)、普通作業員(人)、生コンクリート(m3)、諸雑費(%) クレーンの選択：ラフテレンクレーン：日；クレーン車打設(10m3当り)：無筋構造物						
ラフテレンクレーンの選択：油圧伸縮ジブ型 16t吊						
(クレーン)賃料長期割引の適用：長期割引あり						
クレーン賃料補正：標準						
資材計上区分：材料費+施工費						
生コンクリート：生コンクリート(普通)；18-8-40						
生コンクリート小型車割増額の計上：計上しない						

代価表

(15号代価表)

型枠[袖詰基礎]
一般型枠 鉄筋・無筋構造物

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	型わく工	46.66	30,000	型枠工	30,000	[R7.3] R6.3
R2	普通作業員	25.14	20,800	普通作業員	25,400	[R7.3] R6.3
R3	土木一般世話役	9.51	32,400	土木一般世話役	31,000	[R7.3] R6.3
<p>■施工パッケージ 計算根拠式 P' 積算地区補正単価 = 10,100</p> $\times \left\{ \left(\frac{46.66}{100} \times \frac{30,000}{30,000} + \frac{25.14}{100} \times \frac{20,800}{25,400} + \frac{9.51}{100} \times \frac{32,400}{31,000} \right) \times \frac{100}{(46.66 + 25.14 + 9.51)} + \frac{100 - 100}{100} \right\} = 9,587.80422949113 = 9,588 (\text{円/m}^2)$						
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 型枠の種類：一般型枠 構造物の種類：鉄筋・無筋構造物 労務費の適用：普通作業員を適用					
日当り	施工量(m2/日) 採用値：QPD = if(1== 4, if(1== 1, 38, 38), 38) *1 = 38					

代価表

(16号代価表)

10 m3当り

クレーン車類投入打設(治山)[袖詰]
無筋構造物 18-8-40 吊

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	0 200	32,400	6,480		[R7.3]
特殊作業員	人	0 600	29,200	17,520		[R7.3]
普通作業員	人	0 700	20,800	14,560		[R7.3]
生コンクリート(普通) 18-8-40BB	m3	10 700	27,900	298,530		[見積]
ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 16t吊 長期割引	日	0 200	49,200	9,840		[CK010350]
諸雑費	%	2		968	諸雑費	バイブレータ、コンクリートバケット損料等
養生工(一般養生) 無筋構造物	m3	10	857	8,570	32号代価表 41頁	[R7治山林道必携・上巻P291]
計				356,468		
1 m3 当り				35,647		
施工歩掛：無筋構造物；クレーン車打設(10m3当り)：一般世話役(人)、特殊作業員(人)、普通作業員(人)、生コンクリート(m3)、諸雑費(%) クレーンの選択：ラフテレンクレーン：日；クレーン車打設(10m3当り)：無筋構造物						
ラフテレンクレーンの選択：油圧伸縮ジブ型 16t吊						
(クレーン)賃料長期割引の適用：長期割引あり						
クレーン賃料補正：標準						
資材計上区分：材料費+施工費						
生コンクリート：生コンクリート(普通)；18-8-40						
生コンクリート小型車割増額の計上：計上しない						

代価表

(17号代価表)

型枠[袖詰]
一般型枠 鉄筋・無筋構造物

1 m2当り

R	名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格(基準地区単価)	基準地区単価	備考
R		100.00				
R1	型わく工	46.66	30,000	型枠工	30,000	[R7.3] R6.3
R2	普通作業員	25.14	20,800	普通作業員	25,400	[R7.3] R6.3
R3	土木一般世話役	9.51	32,400	土木一般世話役	31,000	[R7.3] R6.3
<p>■施工パッケージ 計算根拠式 P' 積算地区補正単価 = 10,100</p> $\times \left\{ \left(\frac{46.66}{100} \times \frac{30,000}{30,000} + \frac{25.14}{100} \times \frac{20,800}{25,400} + \frac{9.51}{100} \times \frac{32,400}{31,000} \right) \times \frac{100}{(46.66 + 25.14 + 9.51)} + \frac{100 - 100}{100} \right\} = 9,587.80422949113 = 9,588 (\text{円/m}^2)$						
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 型枠の種類：一般型枠 構造物の種類：鉄筋・無筋構造物 労務費の適用：普通作業員を適用					
日当り	施工量(m2/日) 採用値：QPD = if(1== 4, if(1== 1, 38, 38), 38) *1 = 38					

足場工(キャットウォーク)

代価表

(21号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.100	32,400	3,240		[R7.3]
とび工	人	0.400	27,900	11,160		[R7.3]
普通作業員	人	0.400	20,800	8,320		[R7.3]
諸雑費	%	21		4,771	諸雑費	斜面用足場ブラケット、丸パイプ、直交クランプ等
計				27,491		
1 m 当り				2,749		
代価表区分：設置延長当りの代価表(10m当りの代価表) 労務費の適用：普通作業員を適用						
とび工(人/掛m2又はm又はm2)：S2 = 0.4+0 = 0.4 日当り施工量(掛m2又はm2/日)：D1 = 10/0.1 = 100						

土のう締切工
48*62cm

代価表

(22号代価表)

10 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ポリエチレン製土のう 48×62cm	枚	170	17	2,890		[978]
普通作業員	人	6	20,800	124,800		[R7.3]
計				127,690		
1 m2 当り				12,769		
土砂計上有無：計上しない						
土のう計上有無：計上する						
土のう：ポリエチレン製土のう；48×62cm						
労務費の適用：普通作業員を適用						

代価表

(23号代価表)

ポンプ 運転(作業時排水) 小口径 発動発電機
排水量7以上30m3/h未満(ポンプ 径100mm*1台)

1日当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.040	32,400	1,296		[R7.3]
普通作業員	人	0.050	20,800	1,040		[R7.3]
発動発電機(賃料) 出力15kVA	日	1	4,645	4,645	1号単価表 52頁	
諸雑費	%	8		558	諸雑費	ポンプ 配管材料損料、水中ポンプ 賃料
計				7,539		
1日当り				7,539		
代価表単位の選択：排水ポンプ 運転1日当り代価表						
排水量の選択(発動発電機)：7以上 30m3/h未満(ポンプ 径100mm*1台)						
発動発電機：発動発電機(賃料)；出力15kVA						
労務費の適用：普通作業員を適用						
土木一般世話役(人/箇所)： $S1' = 0.04 * 0 = 0$						
普通作業員(人/箇所)： $S5' = 0.05 * 0 = 0$						
発動発電機(日/箇所)： $S3' = 1 * 0 = 0$						
日当り施工量(日又は箇所/日)： $QPD = \text{if}(1=1, 1, 1/0) = 1$						

水替ポンプ据付・撤去(小口径) 揚程10m以下
排水7以上30m3/h未満 ポンプ口径100mm

代価表

(24号代価表)

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	0.320	32,400	10,368		[R7.3]
普通作業員	人	1.040	20,800	21,632		[R7.3]
バックホ(賃料) バックホ容量・山積0.8(平積0.6)m3・吊能力2.9t	日	0.240	60,582	14,540	2号単価表 54頁	
計				46,540		
1箇所当り				46,540		
ポンプ口径：10m以下:7以上30m3/h未満；ポンプ口径(mm)						
バックホ運転費：バックホ(賃料)；バックホ容量・山積0.8(平積0.6)m3・吊能力2.9t						
労務費の適用：普通作業員を適用						

代価表

水替工
塩ビ管設置撤去（径0.3m）＜仮設期間3ヶ月未満＞

(25号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	2,110	20,800	43,888		[R7.3]
硬質塩ビ管（VU）（損率45%） 呼径300（水替工：塩ビ管設置撤去用）	m	10	3,110	31,100	36号代価表 46頁	
杉切丸太（損率60%） （水替工：塩ビ管設置撤去用）	m ³	0,400	4,560	1,824	37号代価表 47頁	
普通鉄線 普通鉄線（JIS G 3532） #8 4.0mm 10.1m/kg	Kg	2,960	185	548		[216]
計				77,360		
1 m 当り				7,736		

立木処理工
広葉樹 48本

代価表

(26号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
伐倒	m3	1	7,000	7,000		
枝払	m3	1	6,000	6,000		
玉切	m3	1	7,000	7,000		
木寄	m3	1	22,600	22,600		
集材	m3	1	17,600	17,600		
計				60,200		
1 m3 当り				60,200		

代価表

バックホウ掘削(掘削積込、積込)

地山の掘削積込 10000m3未満 制限なし 山積0.8m3(平積0.6m3) 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし

(28号代価表)

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
バックホウ(排対3次) クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型	日	0.513	72,348	37,115	3号単価表 56頁	
計				37,115		
1 m3 当り				371		
作業種別：地山の掘削積込 施工土量：10000m3未満 制限の有無：制限なし 土質区分：砂・砂質土・粘性土・礫質土 現場条件：障害なし バックホウ損料補正(標準=なし)：補正なし (超低騒音型バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第3次基準値) バックホウ(クローラ型)運転：バックホウ(排対3次)；クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型 代価表当り数量の選択：施工土量100m3当り代価表						
バックホウ運転(日/100m3)：S1 = 100/195 = 0.513 日当り施工量区分：DK1 = 1*100+2*10+1 = 121 日当り施工量区分：DK2 = 2*1000+0*100+0*10+1 = 2001 バックホウ機種区分：KK1 = 2*10+1 = 21						

埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

代価表

(29号代価表)

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格(基準地区単価)	基準地区単価	備考
K		9.29				
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 長期割引	7.79	10,900	[賃料]バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)	8,800	建設物価R06.04.P801: 関東地区, 積算
K2	振動ローラ(舗装用) [ハンドガート式] 質量0.5~0.6t 長期割引	1.41	1,520	[賃料]振動ローラ(舗装用) [ハンドガート式] 質量0.5~0.6t	1,260	建設物価R06.04.P804: 関東地区, 積算
K3	タンパ及びビランマ 質量60~80kg 長期割引	0.09	620	[賃料]タンパ 60~80kg	471	建設物価R06.04.P805: 関東地区, 積算
R		82.13				
R1	普通作業員	40.17	20,800	普通作業員	25,400	[R7.3] R6.3
R2	特殊作業員	26.27	29,200	特殊作業員	28,300	[R7.3] R6.3
R3	運転手(特殊)(屋外補正対象外)	15.69	29,800	運転手(特殊)	28,900	[R7.3] R6.3
Z		8.58				
Z1	軽油 パトロール給油	8.45	149	軽油 パトロール給油	138	建設物価R06.04.P788: 東京23区, 積算
Z2	ガソリン レギュラー スタート	0.13	162	ガソリン レギュラー スタート	154	建設物価R06.04.P788: 東京23区, 積算

■施工パッケージ 計算根拠式
P' 積算地区補正単価 = 2,025.1

$$\begin{aligned} & \times \left\{ \left(\frac{7.79}{100} \times \frac{10,900}{8,800} + \frac{1.41}{100} \times \frac{1,520}{1,260} + \frac{0.09}{100} \times \frac{620}{471} \right) \times \frac{9.29}{(7.79 + 1.41 + 0.09)} \right. \\ & \left. + \left(\frac{40.17}{100} \times \frac{20,800}{25,400} + \frac{26.27}{100} \times \frac{29,200}{28,300} + \frac{15.69}{100} \times \frac{29,800}{28,900} \right) \times \frac{82.13}{(40.17 + 26.27 + 15.69)} \right\} \end{aligned}$$

代価表

(29号代価表)

埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	構 成 比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
$+ \left(\frac{8.45}{100} \times \frac{149}{138} + \frac{0.13}{100} \times \frac{162}{154} \right) \times \frac{8.58}{(8.45 + 0.13)}$ $+ \frac{100 - 9.29 - 82.13 - 8.58}{100} \} = 1,962.48149177127 = 1,963(\text{円}/\text{m}^3)$					
施工方法：最大埋戻幅1m以上4m未満					
(バックホ)賃料長期割引の適用：長期割引あり					
(振動ロー)賃料長期割引の適用：長期割引あり					
(クハ)賃料長期割引の適用：長期割引あり					
軽油：軽油；パトロール給油					
ガソリン：ガソリン；レギュラースタンド					
労務費の適用：普通作業員を適用					

代価表

(30号代価表)

100 m3当り

バックホウ掘削(掘削積込、積込)

ルーズな状態の積込 10000m3未満 制限なし 山積0.8m3(平積0.6m3) 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
バックホウ(排対3次) クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型	日	0.474	72,348	34,293	3号単価表 56頁	
計				34,293		
1 m3 当り				343		
作業種別：ルーズな状態の積込 施工土量：10000m3未満 制限の有無：制限なし 土質区分：砂・砂質土・粘性土・礫質土 現場条件：障害なし バックホウ損料補正(標準=なし)：補正なし (超低騒音型バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第3次基準値) バックホウ(クローラ型)運転：バックホウ(排対3次)；クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型 代価表当り数量の選択：施工土量100m3当り代価表						
バックホウ運転(日/100m3)：S1 = 100/211 = 0.474 日当り施工量区分：DK1 = 1*100+2*10+1 = 121 日当り施工量区分：DK2 = 2*1000+0*100+0*10+1 = 2001 バックホウ機種区分：KK1 = 2*10+1 = 21						

大型ブレイカ床掘 I
軟岩 I B 油圧式1300kg級

代価表

(31号代価表)

10 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
大型ブレイカ BH山積0.8(排対3) 岩10% 油圧式1300kg級	時間	0.820	16,072	13,179	4号単価表 58頁	
諸雑費	%	10		1,318	諸雑費	大型ブレイカ用燃料損耗費
計				14,497		
1 m3 当り				1,450		
作業区分 : I : 大型ブレイカが作業箇所に入り作業できる場合 大型ブレイカ区分 : 油圧式1300kg級						
施工歩掛 (I) : 軟岩 I B ; 大型ブレイカ:油圧1300kg級:時間,% (大型ブレイカベアスマン・バックホウ)排ガス機械の選択 : 排ガス対策型(第3次基準値)						
大型ブレイカ運転 : 大型ブレイカ BH山積0.8(排対3) 岩10% ; 油圧式1300kg級						

養生工(一般養生)
無筋構造物

代価表

(32号代価表)

10 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	0.080	32,400	2,592		[R7.3]
普通作業員	人	0.250	20,800	5,200		[R7.3]
諸雑費	%	10		779	諸雑費	散水機械、電力、シート、養生マット、角材等
計				8,571		
1 m3 当り				857		
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) : 無						
施工歩掛 : 無筋構造物 ; コンクリート養生費 (10m3当り): 一般世話役(人), 普通作業員(人), 諸雑费率(%)						
労務費の適用 : 普通作業員を適用						
土木一般世話役(人/10m3) 補正後 : $S3 = (0.08 \times 1) / 1 \times 1 = 0.08$						
普通作業員(人/10m3) 補正後 : $S1 = (0.25 \times 1) / 1 \times 1 = 0.25$						
構造物区分 : $K02 = 0 \times (1 - \text{MIN}(0, 1)) + 0 = 0$						
日当り施工量(m3/日) : $D1 = 10 / (0.08 / 0) = 0$						
日当り施工量(m3/日) : $D2 = (40 \times 1) / 1 = 40$						

打継面清掃工

代価表

(33号代価表)

10 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.020	32,400	648		[R7.3]
普通作業員	人	0.100	20,800	2,080		[R7.3]
諸雑費	%	12		327	諸雑費	
計				3,055		
1 m3 当り				306		
労務費の適用：普通作業員を適用						

代価表

目地板
30m2未満 瀝青質目地板 (t=10)

(34号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		64.40				
R1	普通作業員	47.36	20,800	普通作業員	25,400	[R7.3] R6.3
R2	土木一般世話役	16.72	32,400	土木一般世話役	31,000	[R7.3] R6.3
Z		35.60				
Z1	目地材 (瀝青質板) T 1 0 m m	35.60	2,470	瀝青繊維質目地板 厚さ10mm	1,190	建設物価R06.04.P225 : 関東地区, 積算
<p>■施工パッケージ 計算根拠式 P' 積算地区補正単価 = 4,077.3</p> $\times \left\{ \left(\frac{47.36}{100} \times \frac{20,800}{25,400} + \frac{16.72}{100} \times \frac{32,400}{31,000} \right) \times \frac{64.4}{(47.36 + 16.72)} \right.$ $+ \left(\frac{35.6}{100} \times \frac{2,470}{1,190} \right) \times \frac{35.6}{35.6}$ $\left. + \frac{100 - 64.4 - 35.6}{100} \right\} = 5,318.0821283726 = 5,319(\text{円}/\text{m}^2)$						
	日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) : 無 1工事当り使用量 : 30m2未満					
	目地板の種類 : 瀝青質目地板 (t=10) 目地板の種類(瀝青質目地板(t=10)) : 目地材 (瀝青質板) ; T 1 0 m m					
	目地板材料費の単位選択 : 「m2」単位の目地材材料費 労務費の適用 : 普通作業員を適用					

代価表

(35号代価表)

型枠
一般型枠 鉄筋・無筋構造物

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	型わく工	46.66	30,000	型枠工	30,000	[R7.3] R6.3
R2	普通作業員	25.14	20,800	普通作業員	25,400	[R7.3] R6.3
R3	土木一般世話役	9.51	32,400	土木一般世話役	31,000	[R7.3] R6.3
<p>■施工パッケージ 計算根拠式 P' 積算地区補正単価 = 10,100</p> $\times \left\{ \left(\frac{46.66}{100} \times \frac{30,000}{30,000} + \frac{25.14}{100} \times \frac{20,800}{25,400} + \frac{9.51}{100} \times \frac{32,400}{31,000} \right) \times \frac{100}{(46.66 + 25.14 + 9.51)} \right.$ $\left. + \frac{100 - 100}{100} \right\} = 9,587.80422949113 = 9,588 (\text{円/m}^2)$						
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無 型枠の種類：一般型枠 構造物の種類：鉄筋・無筋構造物 労務費の適用：普通作業員を適用					
日当り	施工量(m2/日) 採用値：QPD = if(1== 4, if(1== 1, 38, 38), 38) *1 = 38					

代価表

(38号代価表)

片切掘削(人力併用機械掘削)(土砂)
制限あり 砂・砂質土・粘性土・礫質土

10 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	0.160	20,800	3,328		[R7.3]
バックホ(2014年規制) クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	日	0.164	66,834	10,961	5号単価表 62頁	
計				14,289		
1 m3 当り				1,429		
制限の有無：制限あり						
土質区分：砂・砂質土・粘性土・礫質土						
(超低・後方バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(2014年規制)						
バックホ運転費：バックホ(2014年規制)；クローラ型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回						
労務費の適用：普通作業員を適用						
代価表当り数量の選択：施工土量10m3当り代価表						
普通作業員(人/日当り作業量)：S1' = 0.16/10*61 = 0.976						
バックホ運転(日/10m3)：S2 = 10/61 = 0.163934426229508						
条件(制限の有無+土質区分)：RDK = 1*10+1 = 11						

3t級ブルドーザ敷均し・(2.5≦W<4m)狭隘な箇所
普通3t級 岩石無

代価表

(40号代価表)

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ブルドーザ(排対1次) 普通3t級	日	0.769	41,687	32,057	8号単価表 66頁	
計				32,057		
1 m3 当り				321		
ブルドーザ機種：普通3t級 岩石割増の有無：無						
(ブルドーザ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値) ブルドーザ運転費：ブルドーザ(排対1次)；普通3t級						
敷均し材料計上区分：計上しない 補助労務計上区分：計上しない						
代価表当り数量の選択：施工土量100m3当り代価表						
ブルドーザ(日/100m3・日)：S1 = if(1==1, 1*0.769230769230769, 1)*1*1 = 0.769 普通作業員(人/100m3・日)：S2 = if(1==1, 0, 0/100*130)*1*1 = 0 補助労務(m3/100m3・日)：S2' = if(1==1, 0, 0/100*130)*1 = 0 敷均し材料(m3/100m3・日)：S3 = if(1==1, 100, 130)*(1+0/100)*0 = 0 情報化施工機器・システム(日/100m3・日)：S4 = if(1==1, 1*0.769230769230769, 1)*1*if(1==1, 0, 1) = 0 日当り施工量(m3)：情報化施工：Db = if(1==1, 130, 130*1.35) = 130 施工土量100m3当りの作業日数(日/100m3)：LD = 100/130 = 0.769230769230769 日当り施工量(m3/日)：QPD = 130/1 = 130						

振動ロー締固め
 路床 2.5m以上4.0m未満 搭乗式コンバインド型3~4t

代価表

(41号代価表)

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
振動ロー(賃料) 質量3~4t長期割引	日	1.282	39,469	50,599	7号単価表 64頁	
計				50,599		
1 m3 当り				506		
日当り施工量：路床:2.5m以上4.0m未満:搭乗式コンバインド型3~4t ; 日当り施工量(m3/日) 振動ロー運転費(賃料)：振動ロー(賃料)；質量3~4t長期割引						
代価表の選択：施工土量100m3当り代価表						
振動ロー運転(日/100m3)：S1 = 1*1.28205128205128*1 = 1.282						
振動ロー運転(日) (BHK≠1)：S1b = 1*1 = 1						
100m3当り作業日数(日/100m3)：LD = 100/78 = 1.28205128205128						
日当り施工量(m3/日)：QPD = 78/1 = 78						

単価表

(1号単価表)

発動発電機(賃料)
出力15kVA

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
軽油 ハトール給油	L	13,800	149	2,056		[CZ003000]
ディーゼル発電機(賃貸) 出力15kVA	供用日	1,550	1,670	2,589		[2530]
計				4,645		
1日当り				4,645		
(発動発電機)賃料長期割引の適用 : 長期割引あり						
(発動発電機)賃料長期割引の適用 : 長期割引あり						
軽油 : 軽油 ; ハトール給油						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)計算 : $Sd3 = 0 \times (0/0) = 0$						
運転日数率 : $\alpha = 0 \times 1 + 0 \times (1-1) = 0$						
運転日数率(小数2位止め) : $\alpha Z = 0/0 = 0$						
運転日数率(有効2桁止め) : $\alpha H = 0/0 = 0$						
供用日数率 : $\alpha 2 = 0/0 = 0$						
運転1日当り損料(円/日)丸め : $UgSa = INT(0 \times 0 \times 10^{(-6)} \times 10) / 10 = 0$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = INT(0 \times 0 \times 10) / 10 = 0$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $KnSb = 0 \times 0 + 0 \times (1-0) = 0$						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : $KnSc = INT(0 \times 0 \times 10^{(-6)} \times 10) / 10 = 0$						
供用1日当り損料率(概算) (*10 ⁶) : $Knr = 0 / (0 \times 1000) \times 10^6 = 0$						
供用1日当り換算損料 15欄から : $SnKa = INT(0 \times (0/100+1) \times 10) / 10 = 0$						
供用1日換算損料 9・11欄、 α 使用 : $SnKb = INT((0 \times 0 \times 0 + 0 \times 1/0) \times (0/100+1) \times 0 \times 10) / 10 = 0$						

発動発電機(賃料)
出力15kVA

単価表

(1号単価表)

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日換算損料 9・11欄、α2使用 : $S_nKc = INT((0/0*0*0+0*1)*(0/100+1)) = 0$						
補正後基礎価格(円/台)丸め : $KKa = INT((0*1000+0)*10)/10 = 0$						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $b1 = 1*0+0*(1-0) = 0$						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $b2 = 0*0+1*(1-0) = 1$						
損料補正有無(総合) : $SHT = -1+-1+-1+0 = -3$						
損料補正有無(交替作業) : $SH1 = 0-1 = -1$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = 0-1 = -1$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = 0-1 = -1$						
損料補正有無(特殊規格加減算) : $SH5 = (0*0)^{(1/2)} = 0$						
規格区分(1)(絶対値) : $NK = (15*15)^{(1/2)} = 15$						
工種区分(絶対値) : $NK3 = (0*0+265.1*265.1+0*0+0*0)^{(1/2)} = 265.1$						

単価表

(2号単価表)

1日当り

バックホ(賃料)
バック容量・山積0.8(平積0.6)m³・吊能力2.9t

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	29,800	29,800		[R7.3]
軽油 パトロール給油	L	121	149	18,029		[CZ003000]
バックホ(クローラ型)[クレーン機能付] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t 長期割引	日	1090	11,700	12,753		[CK010300]
計				60,582		
1日当り				60,582		
(バックホ)賃料長期割引の適用：長期割引なし 軽油：軽油；パトロール給油						
供用日当り運転時間(h/日)：t = 0*0+0*(1-0) = 0 損料表上の標準のt(h/日)：t0 = 0*1+0*(1-1) = 0						
損料表上の標準のt(h/日)自動積算丸め：t0Z = 0/0 = 0 損料表上の標準のt(h/日)有効2桁：t0H = 0/0 = 0						
tによる補正有無の判定用計算：tj = 0/0 = 0 運転1h当り損料(円/h)丸め：UgSa = INT(0*0*10 ⁻⁶ *10)/10 = 0						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(0*0*10)/10 = 0 供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = 0*0+0*(1-0) = 0						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(0*0*10 ⁻⁶ *10)/10 = 0 供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁶)：KnR = 0/(0*1000)*10 ⁶ = 0						
供用1日当り換算損料 15欄から：SnKa = INT(0*(0/100+1)*10)/10 = 0 供用1日当り換算損料 9・11欄から：SnKb = INT((0*0+0*1/0)*(0/100+1)*0*10)/10 = 0						

単価表

(2号単価表)

1日当り

バックホ(賃料)
 バックホ容量・山積0.8(平積0.6)m³・吊能力2.9t

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日当り換算損料 指定15欄端数切用 : SnKb2 = (0*(0-1)*0+0*(1-1)+0)*(0/100+1)*10 = 0						
供用1日当り換算損料 計算・指定13欄判断 : SnKb3 = if(0> 1, (0/10), 0) = 0						
省庁による指定の15欄(円/日)岩補正 : KnKSo = if(INT((0-1)*100)=-10, 0, 0)*0 = 0						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = INT((0*1000+0)*10)/10 = 0						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = 1*0+0*(1-0) = 0						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = 0*0+1*(1-0) = 1						
損料補正有無(総合) : SHT = -1+1+0+-1+0 = -1						
損料補正有無(交替作業) : SH1 = 0-1 = -1						
損料補正有無(標準外のt) : SH2 = 1-0 = 1						
損料補正有無(岩石作業) : SH3 = if(10==0, 0-1, if(2==4, if(0==1.1, 0-1, 0), 0)) = 0						
損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = 0-1 = -1						
損料補正有無(特殊規格加減算) : SH5 = (0*0)^(1/2) = 0						
規格区分(1)(絶対値) : NK = (0.8*0.8)^(1/2) = 0.8						
工種区分(絶対値) : NK3 = (0*0+0*0+0*0+391*391+0*0)^(1/2) = 391						
岩石補正損料区分 : GHa = if(10==0, 1, 0+ if(0==1, 0, if(2.1==10, if(1==1, 10, if(0==0, 0, 10)), 0))) = 0						

単価表

(3号単価表)

1日当り

バックホ(排対3次)
クロー型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	29,800	29,800		[R7.3]
軽油 パトロール給油	L	94	149	14,006		[CZ003000]
バックホ[排出ガス対策型(第3次基準値)] クロー型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型	供用日	1420	20,100	28,542		[R7建設機械等損料表] [0202-134-060-001]
計				72,348		
1日当り				72,348		
1日当り損料又は賃料数量：Sd2=1.42供用日						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用；11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
1日当り労務数量：Rd2=1人						
軽油：軽油；パトロール給油						
1日当り燃料又は電力数量：Nd2=94L, kWh						
供用日当り運転時間(h/日)： $t = 3.9 \times 1 + 0 \times (1-1) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)： $t_0 = 3.9 \times 1 + 3.9 \times (1-1) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)自動積算丸め： $t_{0Z} = 700/180 = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁： $t_{0H} = 700/180 = 3.9$						
tによる補正有無の判定用計算： $t_j = 0/3.9 = 0$						
運転1h当り損料(円/h)丸め： $UgSa = INT(16300000 \times 107 \times 10^{(-6) \times 10} / 10) = 1740$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり： $KnSa = INT(13300 \times 1 \times 10) / 10 = 13300$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし： $KnSb = 13300 \times 0 + 13300 \times (1-0) = 13300$						

単価表

(3号単価表)

バックホウ(排対3次)
クロー型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : KnSc = INT(16300000*816*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 13300						
供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁶) : Knr = 13300/(16300*1000)*10 ⁶ = 816						
供用1日当り換算損料 15欄から : SnKa = INT(20100*(0/100+1)*10)/10 = 20100						
供用1日当り換算損料 9・11欄から : SnKb = INT((1740*1*1+13300*1/3.9)*(0/100+1)*3.9*10)/10 = 20100						
供用1日当り換算損料 指定15欄端数切用 : SnKb2 = (1740*(1-1)*3.9+13300*(1-1)+0)*(0/100+1)*10 = 0						
供用1日当り換算損料 計算・指定13欄判断 : SnKb3 = if(1> 1, (0/10), 20100) = 20100						
省庁による指定の15欄(円/日)岩補正 : KnKSo = if(INT((1-1)*100)==10, 0, 0)*0 = 0						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = INT((16300*1000+0)*10)/10 = 16300000						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = 1*0+1*(1-0) = 1						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = 1*0+1*(1-0) = 1						
損料補正有無(総合) : SHT = 0+0+0+0 = 0						
損料補正有無(交替作業) : SH1 = 1-1 = 0						
損料補正有無(標準外のt) : SH2 = 1-1 = 0						
損料補正有無(岩石作業) : SH3 = if(10==0, 1-1, if(1==4, if(1==1.1, 1-1, 0), 0)) = 0						
損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = 1-1 = 0						
損料補正有無(特殊規格加減算) : SH5 = (0*0)^(1/2) = 0						
規格区分(1)(絶対値) : NK = (0.8*0.8)^(1/2) = 0.8						
工種区分(絶対値) : NK3 = (0*0+0*0+0*0+0*0+0*0)^(1/2) = 0						
岩石補正損料区分 : GHa = if(10==0, 1, 1+if(1==1, 0, if(2.1==10, if(1==1, 10, if(0==0, 0, 10)), 0))) = 1						

単価表

(4号単価表)

大型ブレイカ BH山積0.8(排対3) 岩10%
油圧式1300kg級

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	0.170	29,800	5,066		[R7.3]
軽油 パトロール給油	L	15	149	2,235		[CZ003000]
バックホ[排出ガス対策型(第3次基準値)][岩石補正+10%] クローラ型・山積0.8m3(平積0.6m3)超低騒音型	時間	1	5,320	5,320		[R7建設機械等損料表]
大型ブレイカ(ベ-スマシ含まず) 油圧式1300kg級	日	0.170	20,300	3,451		[R7建設機械等損料表] [0604-077-213-001]
計				16,072		
1 時間 当り				16,072		
供用損料に対する補正 : 単価管理で設定した損料を適用 ; 11欄に掛ける補正值:建設機械 (陸上) 軽油 : 軽油 ; パトロール給油						
・一般又は特殊運転手(人/h) : $Rh1 = \text{if}(0==1, 1/7, (1/\text{MIN}(7, 5.8))) = 0.17$						
・一般又は特殊運転手(人/日) : $Rd1 = \text{if}(0==1, 1, (1/\text{MIN}(7, 5.8)*5.8)) = 1$						
1h当り消費量(L又はkWh)丸めなし : $Nh0 = 104*0.144 = 14.976$						
1h当り消費量(L又はkWh)有効2桁 : $Nh1 = 104*0.144 = 15$						
1h当り消費量(L又はkWh)整数止め : $Nh2 = 104*0.144 = 15$						
1日当り消費量(L又はkWh)丸め無 : $Nd0 = 15*5.8 = 87$						
1日当り消費量(L又はkWh)小数2位 : $Nd1 = 15*5.8 = 87$						
1日当り消費量(L又はkWh)整数止 : $Nd2 = 15*5.8 = 87$						
1日当り消費量(L又はkWh)有効2桁 : $Nd3 = 15*5.8 = 87$						
1日当り消費量(L又はkWh)小数1位 : $Nd4 = 15*5.8 = 87$						

大型ブレイカ BH山積0.8(排対3) 岩10%
油圧式1300kg級

単価表

(4号単価表)

1時間当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
損料表上の標準のT(h/日) : $T_0 = \text{if}(0=0, 700/120, 0) = 5.8$ Tによる補正有無の判定用計算 : $T_j = 0/5.8 = 0$						
供用日当り運転時間(h/日) : $t = \text{if}(0=1, (0*5.8), \text{if}(1=1, \text{if}(0=1, 3.888888888889, \text{if}(1=1, 3.9, 3.9)), 0)) = 3.9$ 損料表上の標準のt(h/日)小数1位 : $t_0Z = \text{if}(0=0, 700/180, 0) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : $t_0H = \text{if}(0=0, 700/180, 0) = 3.9$ 損料表上の標準のt(h/日)丸め無し : $t_0m = \text{if}(0=0, 700/180, 0) = 3.888888888889$						
tによる補正有無の判定用計算 : $t_j = 0/\text{if}(1=1, 3.9, 3.9) = 0$ 運転日数率 : $\alpha = \text{if}(0=1, 0, \text{if}(0=1, 3.9/5.8, \text{if}(1=1, 0.67, 0.67))) = 0.67$						
運転日数率(小数2位止め) : $\alpha Z = 120/180 = 0.67$ 運転日数率(有効2桁止め) : $\alpha H = 120/180 = 0.67$						
供用日数率 : $\alpha 2 = \text{if}(0=1, 1/0, \text{if}(0=1, 5.8/3.9, 180/120)) = 1.5$ 補助計算 : $\alpha Ab = \text{if}(0=1, 3.9/5.8, \text{if}(1=1, 0.54, 0.54)) = 0.54$						
アタッチメント運転日数率(小数2位止め) : $\alpha AZ = 70/130 = 0.54$ アタッチメント運転日数率(有効2桁止め) : $\alpha AH = 70/130 = 0.54$						
アタッチメント供用日数率 : $\alpha A2 = \text{if}(0=1, 1/0, \text{if}(0=1, 5.8/3.9, 130/70)) = 1.86$ ・1h当り運転日数(日/h) : $Sda = 1/5.8 = 0.17$						
・1h当り運転日数(日/h)(発注者別指定丸め) : $Sdb = 1/5.8 = 0.172$ ・1h当り供用日数(供用日/h) : $Sdt = 1/3.9 = 0.26$						
運転1h当り換算損料 13欄から : $SnHa = \text{INT}(5320*(0/100+1)*10)/10 = 5320$ 運転1h当り換算損料 9・11欄から : $SnHb = \text{INT}((1740*1.1+13300*1/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 5320$						
運転1h当り換算損料 9・11欄から 工種指定 : $SnHc = \text{INT}((\text{INT}(1740*1.1)+\text{INT}(13300*1/3.9))*(0/100+1)*10)/10 = 5320$ 運転1h当り換算損料 指定13欄 : $SnHb2 = \text{INT}((0+13300*(1-1)/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 0$						
・運転1日当り換算損料(円/日) : $SnD = (31200*1+30900*(1-1))*1+30900*(1-1) = 31200$ 運転1日当り換算損料 15欄から : $SnDa = \text{INT}(20800*1.5*(0/100+1)*10)/10 = 31200$						
運転1日当り換算損料 9・11欄から : $SnDb = \text{INT}(5.8*((1740*1.1+13300*1/3.9)*T*(0/100+1)*10)/10 = 30900$ 運転1h当り損料(円/h)丸め : $UgSa = \text{INT}(16300000*107*10^(-6)*10)/10 = 1740$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = \text{INT}(13300*1*10)/10 = 13300$ 供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $KnSb = 13300*\text{MIN}(0, 1)+13300*(1-\text{MIN}(0, 1)) = 13300$						

大型ブレーカ BH山積0.8(排対3) 岩10%
油圧式1300kg級

単価表

(4号単価表)

1 時間当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : KnSc = INT(16300000*816*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 13300						
供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁶) : Knr = 13300/(16300*1000)*10 ⁶ = 816						
供用1日損料切替(0=特殊加減なし) : KnSS = (0*0) ^(1/2) = 0						
NEXCO独自損料(運転)(円/h)丸め : Ynx9 = INT(1740*1.1*(0/100+1)*10)/10 = 1910						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : Ynx11 = INT(13300*1*(0/100+1)*10)/10 = 13300						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h)計 : YNXAh = 0*0+0*0 = 0						
NEXCO独自損料(調整金)(円/h)バックホのみ : Ynxah = (5320-INT(1*1910))-INT(0.26*13300))*if(0==1, 1, 0) = 0						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日)計 : YNXAD = 0*0+0*0 = 0						
NEXCO独自損料(調整金)(円/日)バックホのみ : YnxaD = (31200-IN5.8(T*1910))-INT(1.5*13300))*if(0==1, 1, 0) = 0						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = INT((16300*1000+0)*10)/10 = 1630000						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = 1*0+1*(1-0) = 1						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = 1*0+1*(1-0) = 1						
運転1日当り換算損料 13欄から : snDa = INT(20300*(0/100+1)*10)/10 = 20300						
運転1日換算損料 9・11欄、α使用 : snDb = INT((7970+6630*1/0.54)*(0/100+1)*10)/10 = 20200						
運転1日換算損料 9・11欄、α2使用 : snDc = INT((7970+6630*1*1.86)*(0/100+1)*10)/10 = 20300						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : knSa = INT(6630*1*10)/10 = 6630						
1h当り調整金(円/h) : snDB = 0*(20300/5.8-20300*0.17) = 0						
NEXCO独自損料(運転)(円/日)丸め : ynx9 = INT(7970*(0/100+1)*10)/10 = 7970						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : ynx11 = INT(6630*1*(0/100+1)*10)/10 = 6630						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h) : yNXAh = INT(20300*if(0==1, 0.17, 0))-(0+0) = 0						
補助計算1 : yNXs1 = INT(7970*if(0==1, 0.17, 0)) = 0						
補助計算2 : yNXs2 = INT(6630*if(0==1, 0.26, 0*1.86)) = 0						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日) : yNXAD = (20300-7970-INT(6630*1.86))*if(0==1, 1, 0) = 0						
・1日当り無償貸与機械評価額(円) : MKD = 31200-0 = 31200						
・1h当り無償貸与機械評価額(円/h) : MKK = 5320-0 = 5320						
1日当り無償貸与機械損料(円)丸め : KSDa = IN5.8(0*T*10)/10 = 0						
1h当り無償貸与機械損料(円)丸め : KSEa = INT((0+0)*10)/10 = 0						
1h当り現場修理費(円/h)丸め : HSEa = INT(16300000*0*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 0						

単価表

(4号単価表)

大型ブレイカ BH山積0.8(排対3) 岩10%
油圧式1300kg級

1時間当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
1h当り管理費(円/h)丸め : HKEa = INT(0/3.9*10)/10 = 0						
供用1日当り管理費(円/日)丸め : DKEa = INT(16300000*(0*10 ⁻⁶)*10)/10 = 0						
供用1日当り管理費率(*10 ⁻⁶) : DKr = ((0/100)/360)*10 ⁶ = 0						
・アタッチメント1日当り無償貸与評価額 : mKD = 20300-0 = 20300						
アタッチメント1日当り貸与損料丸め : kSDa = INT((0+0)*10)/10 = 0						
アタッチメント1日当り現場修理費丸め : hSEa = INT(6240*1000*0*10 ⁻⁶ *10)/10 = 0						
アタッチメント1日当り管理費(円/日)丸め : hKEa = INT(0/0.67*10)/10 = 0						
アタッチメント供用1日当り管理費丸め : dKEa = INT(6240*1000*(0*10 ⁻⁶)*10)/10 = 0						
アタッチメント供用1日管理費率(*10 ⁻⁶) : dKr = ((0/100)/360)*10 ⁶ = 0						
規格区分(ハック材)(絶対値) : NK = (0.8*0.8) ^(1/2) = 0.8						
規格区分(アタッチメント)(絶対値) : NK2 = (1300*1300) ^(1/2) = 1300						
損料補正有無(総合)ベース : SHT = 0+0+0+0+0+0 = 0						
アタッチメント損料補正有無 : sHT = 0+0+0 = 0						
損料補正有無(標準外のt) : SH2 = 1-1 = 0						
損料補正有無(岩石作業) : SH3 = if(10==0, 1, 1-1, if(0==1, if(1.1==1.1, 1, 1-1), 0), 0) = 0						
損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = 1-1 = 0						
損料補正有無(特殊規格加減)ベース : SH5 = (0*0) ^(1/2) = 0						

単価表

(5号単価表)

1日当り

バックホ(2014年規制)
クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	29,800	29,800		[R7.3]
軽油 パトロール給油	L	58	149	8,642		[CZ003000]
バックホ[排出ガス対策型(2014年規制)] クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回	供用日	1.560	18,200	28,392		[R7建設機械等損料表] [0202-236-035-001]
計				66,834		
1日当り				66,834		
1日当り損料又は賃料数量 : Sd2=1.56供用日						
供用損料に対する補正 : 単価管理で設定した損料を適用 ; 11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
1日当り労務数量 : Rd2=1人						
軽油 : 軽油 ; パトロール給油						
1日当り燃料又は電力数量 : Nd2=58L, kWh						
供用日当り運転時間(h/日) : $t = 3.9 \times 1 + 0 \times (1-1) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日) : $t_0 = 3.9 \times 1 + 3.9 \times (1-1) = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)自動積算丸め : $t_{0Z} = 700/180 = 3.9$						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : $t_{0H} = 700/180 = 3.9$						
tによる補正有無の判定用計算 : $t_j = 0/3.9 = 0$						
運転1h当り損料(円/h)丸め : $UgSa = INT(14700000 \times 107 \times 10^{(-6)} \times 10) / 10 = 1570$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : $KnSa = INT(12000 \times 1 \times 10) / 10 = 12000$						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : $KnSb = 12000 \times 0 + 12000 \times (1-0) = 12000$						

単価表

(5号単価表)

バックホ(2014年規制)
クロー型・山積0.45m3・超低騒音・後方超小旋回

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : KnSc = INT(14700000*816*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 12000						
供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁶) : Knr = 12000/(14700*1000)*10 ⁶ = 816						
供用1日当り換算損料 15欄から : SnKa = INT(18200*(0/100+1)*10)/10 = 18200						
供用1日当り換算損料 9・11欄から : SnKb = INT((1570*1*1+12000*1/3.9)*(0/100+1)*3.9*10)/10 = 18100						
供用1日当り換算損料 指定15欄端数切用 : SnKb2 = (1570*(1-1)*3.9+12000*(1-1)+0)*(0/100+1)*10 = 0						
供用1日当り換算損料 計算・指定13欄判断 : SnKb3 = if(1> 1, (0/10), 18100) = 18100						
省庁による指定の15欄(円/日)岩補正 : KnKSo = if(INT((1-1)*100)==10, 0, 0)*0 = 0						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = INT((14700*1000+0)*10)/10 = 14700000						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = 1*0+1*(1-0) = 1						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = 1*0+1*(1-0) = 1						
損料補正有無(総合) : SHT = 0+0+0+0 = 0						
損料補正有無(交替作業) : SH1 = 1-1 = 0						
損料補正有無(標準外のt) : SH2 = 1-1 = 0						
損料補正有無(岩石作業) : SH3 = if(10==0, 1-1, if(1==4, if(1==1.1, 1-1, 0), 0)) = 0						
損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = 1-1 = 0						
損料補正有無(特殊規格加減算) : SH5 = (0*0)^(1/2) = 0						
規格区分(1)(絶対値) : NK = (0.45*0.45)^(1/2) = 0.45						
工種区分(絶対値) : NK3 = (0*0+0*0+0*0+0*0+0*0)^(1/2) = 0						
岩石補正損料区分 : GHa = if(10==0, 1, 1+if(1==1, 0, if(2.1==10, if(1==1, 10, if(0==0, 0, 10)), 0))) = 1						

単価表

(7号単価表)

振動ロー(賃料)
質量3~4t長期割引

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	29,800	29,800		[R7.3]
軽油 パトロール給油	L	17	149	2,533		[CZ003000]
振動ロー(舗装用)[搭乗・コンパインド式] 質量3~4t 長期割引	日	1600	4,460	7,136		[CK011400]
計				39,469		
1日当り				39,469		
(振動ロー)賃料長期割引の適用：長期割引あり						
(振動ロー)賃料長期割引の適用：長期割引あり						
軽油：軽油；パトロール給油						
供用日当り運転時間(h/日)：t = 0*0+0*(1-0) = 0						
損料表上の標準のt(h/日)：t0 = 0*1+0*(1-1) = 0						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位：t0Z = 0/0 = 0						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁：t0H = 0/0 = 0						
tによる補正有無の判定用計算：tj = 0/0 = 0						
運転1h当り損料(円/h)丸め：UgSa = INT(0*0*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 0						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(0*0*10)/10 = 0						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = 0*0+0*(1-0) = 0						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(0*0*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 0						
供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁶)：Knr = 0/(0*1000)*10 ⁶ = 0						

振動ロー(賃料)
質量3~4t長期割引

単価表

(7号単価表)

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
・(15欄 補正後)供用1日当換算損料 : $SnK = 0*0+0*(1-0) = 0$						
供用1日当り換算損料 15欄から : $SnKa = INT(0*(0/100+1)*10)/10 = 0$						
供用1日当り換算損料 9・11欄から : $SnKb = INT((0*0*0+0*1/0)*(0/100+1)*0*10)/10 = 0$						
補正後基礎価格(円/台)丸め : $KKa = INT((0*1000+0)*10)/10 = 0$						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $b1 = 1*0+0*(1-0) = 0$						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $b2 = 0*0+1*(1-0) = 1$						
換算供用1日当り貸与損料(円)丸め : $KSDa = INT((0+0/0)*0*(0/100+1)*10)/10 = 0$						
運転1h当り現場修理費(円/h)丸め : $HSEa = INT(0*0*10^{(-6)}*10)/10 = 0$						
供用1日当り管理費(円/日)丸め : $DKEa = INT(0*(0*10^{(-6)})*10)/10 = 0$						
供用1日当り管理费率(* 10^{-6}) : $DKr = ((0/100)/360)*10^6 = 0$						
損料補正有無(総合) : $SHT = -1+1+-1+-1+0 = -2$						
損料補正有無(交替作業) : $SH1 = 0-1 = -1$						
損料補正有無(標準外のt) : $SH2 = 1-0 = 1$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = 0-1 = -1$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = 0-1 = -1$						
損料補正有無(特殊規格加減算) : $SH5 = (0*0)^{(1/2)} = 0$						
規格区分(1)(絶対値) : $NK = (4*4)^{(1/2)} = 4$						
工種区分(絶対値) : $NK3 = (21*21)^{(1/2)} = 21$						

単価表

(8号単価表)

ブルドーザ(排対1次)
普通3t級

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)(屋外補正対象外)	人	1	29,800	29,800		[R7.3]
軽油 パトロール給油	L	24	149	3,576		[CZ003000]
ブルドーザ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通 3t級	供用日	1	5,260	5,260		[R7建設機械等損料表] [0101-012-030-001]
計				41,687		
1日当り				41,687		
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用；11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
軽油：軽油；パトロール給油						
供用日当り運転時間(h/日)：t = 2.9*1+0*(1-1) = 2.9						
損料表上の標準のt(h/日)：t0 = 2.9*1+2.9*(1-1) = 2.9						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位：t0Z = 440/150 = 2.9						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁：t0H = 440/150 = 2.9						
tによる補正有無の判定用計算：tj = 0/2.9 = 0						
運転1h当り損料(円/h)丸め：UgSa = INT(4160000*125*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 520						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(3740*1*10)/10 = 3740						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = 3740*0+3740*(1-0) = 3740						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(4160000*899*10 ⁽⁻⁶⁾ *10)/10 = 3740						
供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁶)：Knr = 3740/(4160*1000)*10 ⁶ = 899						
供用1日当り換算損料 15欄から：SnKa = INT(5260*(0/100+1)*10)/10 = 5260						
供用1日当り換算損料 9・11欄から：SnKb = INT((520*1*1+3740*1/2.9)*(0/100+1)*2.9*10)/10 = 5250						

単価表

(8号単価表)

ブルース (排対1次)
普通3t級

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日当り換算損料 指定15欄端数切用 : SnKb2 = (520*(1-1)*2.9+3740*(1-1)+0)*(0/100+1)*10 = 0						
供用1日当り換算損料 計算・指定13欄判断 : SnKb3 = if(1==1.25, (0/10), 5250) = 5250						
省庁による指定の15欄(円/日)岩25% : KnKSS = 0*1 = 0						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = INT((4160*1000+0)*10)/10 = 4160000						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = 1*0+1*(1-0) = 1						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = 1*0+1*(1-0) = 1						
損料補正有無(総合) : SHT = 0+0+0+0 = 0						
損料補正有無(交替作業) : SH1 = 1-1 = 0						
損料補正有無(標準外のt) : SH2 = 1-1 = 0						
損料補正有無(岩石作業) : SH3 = if(10>= 8,						
if(1< 3,						
if(1== 1.1, 1-1, 0), 1-1), 1-1) = 0						
損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = 1-1 = 0						
損料補正有無(特殊規格加減算) : SH5 = (0*0)^(1/2) = 0						
規格区分(1)(絶対値) : NK = (3*3)^(1/2) = 3						
工種区分(絶対値) : NK3 = (22*22+0*0)^(1/2) = 22						
岩石補正損料区分 : GHa = if(10==0, 1, 1+						
if(1==1, 0,						
if(2.1==10,						
if(1==1, 10,						
if(0==0, 0, 10)), 0))) = 1						